

当社佐渡事業所の看板を 3D プリンターで製作決定

—景観にも配慮したコンクリート製看板—



2025.6.30

2024年に「佐渡島の金山」がユネスコの世界文化遺産に登録されるなど、佐渡では景観への関心が高まっています。佐渡市では景観計画や屋外広告物条例により、看板の色彩や大きさなどについて一定の基準が設けられています。

当社佐渡事業所の案内看板も、こうした基準に合わせて建て替えることとなりました。

そこで、新しい看板を株式会社 Polyuse のコンクリート 3D プリンター「Polyuse One」での形成を計画しました。

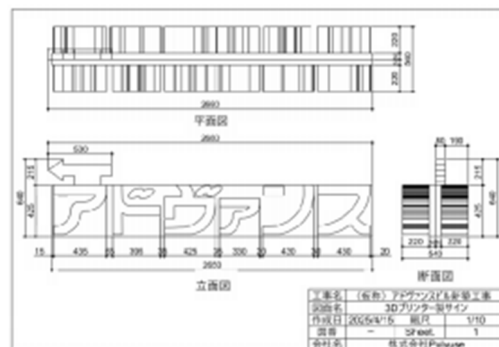
単に看板を新しくするだけでなく、実際に使用するコンクリート構造物を 3D プリンターで製作し、当社の技術を知っていただくための「実物の見本」として活用することを狙った取り組みです。

当初は Polyuse One を佐渡へ搬入して現地形成することも検討しましたが、スケジュールやコスト、技術面などを考慮し、バリアレス縁石の試験と同様、Polyuse の施設で形成したものを佐渡へ搬送することとしました。

形成した看板は、佐渡事業所への設置まで当社新津工場で保管し、機会があれば展示会などでも紹介する予定です。技術を試すだけでなく、実際の製品として使い、見てもらう。こうした取り組みを重ねながら、コンクリート 3D プリンターの土木分野への活用可能性を探っていきます。



佐渡事業所の新しい案内看板 完成予想パース



新看板の寸法 L2688×H640×B540